

庁舎整備基本計画（原案）に関するパブリックコメントの実施結果

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-1	4：新庁舎の規模 (3)必要延床面積	現庁舎は、耐震不足や老朽化が問題視され、早急な新築による新庁舎の建設は理解できる。 一方で、新庁舎の必要延床面積は5,700㎡と想定されているが、確保は可能か？	令和7年6月に策定した「庁舎整備基本構想（以下「基本構想」という。）」では、新庁舎に配置する想定職員数及び市議会議員数に基づき、国の算定基準により算出した床面積に、付加機能分の面積を加えた約5,700㎡を必要延床面積として試算しました。 庁舎整備基本計画（以下「基本計画」という。）では、先進自治体の状況を勘案しながら再検証した結果、行政庁舎機能の必要延床面積を約4,900㎡、新庁舎に合築する多世代交流機能の必要延床面積を約2,100㎡と試算し、新庁舎の必要延床面積はこれらを合計した約7,000㎡、建築面積は約2,800㎡と試算しました。 詳細は、今後の設計の中で検討することとなりますが、現在想定する建設予定地において、必要面積を確保できる見込みです。
1-2	4：新庁舎の規模 (4)来庁者用等駐車場	・駐車場は普通乗用自動車換算で160台分、約4,000㎡が必要とされている。 駐車場160台分約4,000㎡の敷地確保は可能か？	基本構想では、行政庁舎機能分の必要駐車台数及び面積について、普通乗用車換算で160台分、約4,000㎡と試算しました。 基本計画では、本市の人口規模等を踏まえた配置計画の精査を行うとともに、駐車場内を車が円滑に進行するための通路等を確保した結果、行政庁舎機能分の必要駐車台数及び面積について、150台分、約4,600㎡と試算しました。 新たに追加となった多世代交流機能分の必要駐車台数及び面積については、159台分、約4,900㎡と試算しました。 行政庁舎機能分と多世代交流機能分を合わせた必要駐車台数及び面積は、309台分、約9,500㎡となります。詳細は、今後の設計の中で検討することとなりますが、現在想定する建設予定地において、必要面積を確保できる見込みです。

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-3	<p>1：整備コンセプト及び整備方針</p> <p>(1)整備コンセプト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地は JR 烏山駅周辺というのも賛成です。 ・市民に身近な多世代市民交流型庁舎をコンセプトとしているが、本当に必要か。不必要と考える。 <p>果たして、どれくらいの市民が利用すると想定しているのか？</p>	<p>整備コンセプトに関し、庁舎整備検討委員会からの答申では、「庁舎単体ではなく、市民からの要望が高いその他公共施設の併設や複合化を念頭に置いた相乗効果の高い施設整備に取り組みたい」「新庁舎の優先的な整備に加え、多世代が活発に活動できる交流拠点を整備してほしい」といった意見が付されていました。</p> <p>また、市議会庁舎整備検討特別委員会の報告書においては、市民ホール等の交流施設整備の検討を求める意見が付されていました。</p> <p>そのほか、これまで実施してきた意見交換会、職員出前講座、移動市長室、パブリックコメント、タウンミーティングの中では、「庁舎だけを整備するのではなく、その他公共施設との複合化や、市民が気兼ねなく立ち寄ることができる利便性の高い庁舎を整備してほしい」という多くのご意見をいただきました。</p> <p>烏山高校生や子育て世代の保護者の方々との意見交換では、多世代が活発に交流できる拠点がほしいという意見も多く、自分たちの年代だけでなく、子どもから高齢者まで、幅広い世代が集まれるコミュニティスペースの確保を期待する声が多いという特徴がありました。</p> <p>こうしたご意見を最大限に尊重し、このたびの庁舎整備に当たっては、「市民が気兼ねなく立ち寄り、くつろぐことができる 市民に身近な多世代市民交流型庁舎」を整備のコンセプトとして設定したところです。</p> <p>新庁舎への多世代交流機能の合築が実現した暁には、多くの市民等のご利用が見込め、JR 烏山線の利用向上や中心市街地の活性化にも繋がるものと考えています。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
1-4	3：具体的な庁舎機能 方針1：市民の安全・安心なくらしを守る 防災拠点となる庁舎 (2)災害時の対応機能の充実化	・災害時のトイレ対策として、マンホールトイレの設置が必要とされている。マンホールトイレとはどのようなものか？	マンホールトイレとは、災害時に下水道管のマンホールを直接利用して設置する非常用トイレです。 平常時は通常のマンホールですが、災害時に建物内のトイレが使用できなくなった際に、マンホールの蓋を開けてその上に便座や目隠しとなるテントを組み立てて使用します。 基本計画では、災害時の対応機能の充実化を図る一環として、敷地内へのマンホールトイレの設置を検討することとしています。
2-1	全体意見	今後建設費の増加が見込まれるので、3階部分の面積削減を行い現在の本体工事費を15%程度削減するべきである。	庁舎整備の財源としましては、各種基金の活用を予定するほか、新庁舎と合築複合化する多世代交流施設整備について、交付金等の有利な財政支援措置の活用を予定しています。今後の事業費の増加を見据え、更なる基金の積立てによる財源の確保に努め、市民の皆様にご負担をおかけしないよう検討を進めて参ります。 面積の削減については、今後の詳細な設計の中で検討することといたします。
2-2	全体意見	烏山駅前はその須烏山市の一等地で用地買収の更なる増加懸念があり現在計画5億4千万円をオーバーする見込みが発生した時点で場所は再検討すべきである。	基本計画の概算事業費における用地取得・建物補償費については、地価調査価格や建物の築年数及び延床面積等に基づいて試算したものです。今後、用地測量や物件調査等を行ったうえで、詳細な費用を算定していくこととなりますが、各種基金のほか、有利な財政支援措置を積極的に活用し、市民の皆様にご負担をおかけしないよう検討を進めて参ります。
2-3	全体意見	市長室、副市長室はなくし、面積削減を行い、2階で職員と同じフロアでオープンな形にする事で、職員との意思疎通のUPを図り市行政の問題解決の向上に繋げ、来庁者と市長がお互いにオープンな形になり市民の声が届きやすくなると思える。	基本計画では、2階及び3階に行政庁舎機能を配置する計画としており、2階に市民課・税務課等の窓口を有する課を集約し、3階に総務課（災害対応を担う危機管理グループを含む）、総合政策課（秘書政策グループを含む）、災害対策本部のほか、市長室及び副市長室を配置する計画としています。詳細は設計において検討することとなりますが、風通しの良いフロア環境に配慮のうえ進めて参ります。

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
2-4	全体意見	<p>業務の広域化、委託、受託を隣接市町と実施して、部、課の削減を実施して2階スペースを有効活用すべきである。</p> <p>水道、下水道事業は総務省、国土交通省でも広域化を推進しており補助金の支援もあるので、早期に広域化する必要があると思われる。</p> <p>また各市町村で不足している高度な技術を持った専門職が必要な都市建設課についても同様である。</p>	<p>自治体業務の広域連携については、人口減少や少子高齢化が進む中において、行財政の効率化・コスト削減、行政サービスの向上・維持等の面で有効な手段であると考えます。現在でも、本市と那珂川町とで組織する南那須地区行政事務組合において、消防やごみ処理、地域医療等、様々な業務を連携して行っています。更なる業務の広域化につきましては、県や近隣市町とも連携を図りながら検討を進めていく考えです。</p>
2-5	全体意見	<p>川俣市長には他市町に先駆けた取組を実施して、行政改革のPioneer的な存在の市長になり、全国から報道機関の取材行政視察が来る市を作る事を切に願う。</p>	<p>市では、まちの目指すべき将来像を「新たな未来への第一歩 市民が主役のまち 那須烏山市」と設定し、未来志向型の積極的な市政運営を展開しています。他市町を先導する新たなまちづくりに向け、積極果敢に挑戦して参ります。</p>
3	全体意見	<p>新庁舎の内容は良く考えられていると思います、これ以上先延ばしにすると物価高騰してしまうと思うので、早急に進めるべきだと思います</p>	<p>ご意見ありがとうございます。計画内容へのご理解と、物価高騰を懸念した早期着工へのご提言に感謝申し上げます。今後も社会情勢を注視しつつ、スピード感を持って事業推進に取り組み、早期の供用開始を目指して参ります。</p>
4	全体意見	<p>駅前新庁舎に賛成です、災害はいつくるかわかりません災害対策本部や市民の避難場所などの整備は早急に進めるべきだと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。JR 烏山駅前整備へのご賛同と防災拠点機能に関するご提言に感謝申し上げます。行政庁舎は、災害時、災害対策本部となり、情報収集・発信、救援・救護の指揮等、市民の皆様生命・財産を守るための応急活動等を行う防災拠点であることを改めて認識し、早期の整備に向けて着実に検討を進めて参ります。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
5	全体意見	駅前庁舎賛成しています。大規模災害は必ずきます。消防署の近くに庁舎を建てるメリットがわかりません。神長地区は浸水想定区域になっています。それをわかっていてその場所に建てることは絶対にあってはいけないと強く思います。市民の大多数が駅前庁舎で賛成しているので、早急に進めて下さい。	ご意見ありがとうございます。JR 烏山駅前整備へのご賛同と防災上の観点からの貴重なご提言に感謝申し上げます。防災拠点としての安全性を十分に考慮し、災害時に防災拠点としての機能が確実に発揮できる庁舎の早期整備に向け、スピード感を持って着実に検討を進めて参ります。
6	全体意見	那須烏山市庁舎整備を早急に進めていただき、活気ある地域づくりを期待しています。	ご意見ありがとうございます。新庁舎の早期整備へのご期待と、地域活性化に関する前向きなご提言に感謝申し上げます。新庁舎が「まちづくりの拠点」として、活気ある地域づくりの拠点となるよう、スピード感を持って着実に検討を進めて参ります。
7	全体意見	北海道の八雲町では建設費高騰により完全に白紙になってしまうそうです。 建設費だけでなく、有名建築事務所へのデザイン費も高くなったことも原因のひとつです。 そのような事務所に依頼すると、指定された電球を使わなければならない、清掃も特定の事業者を使わなければならない等、制約がとて多くなります。 安心できる事務所にデザインしてもらえるようお願いします。 反対意見も多数あると思いますが、一刻も早く市庁舎ができることを願っております。	昨今の物価高騰や人手不足等による建設単価の上昇は大きな課題と認識しており、華美な装飾や特定の維持管理コストを強いるような設計は避けるべきと考えています。今後の設計に当たっては、市民の皆様の大切な公金を投じる事業であることを念頭に置き、維持管理が容易で、次世代に負担を残さない機能的かつ経済性に優れた庁舎となるよう、検討を進めて参ります。

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
8	全体意見	<p>烏山駅前に自慢できる新庁舎をたててほしい。</p> <p>烏山高校に通学する（烏山線を利用するにあたって）子どもたちが、寒い中駅で立っている時間を、新庁舎内で過ごせるスペースなどあるといいなと思っています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。新庁舎への期待や、烏山高校生の居場所づくりに関する温かいご提案に感謝申し上げます。</p> <p>基本計画では、1階の多世代交流施設の中に、電車の待ち時間に勉強をしたり、休憩することができるスペースを設ける計画としています。烏山高校に通学する生徒の皆さんを含め、多世代が集い、快適に過ごし、交流することができる施設となるよう、検討を進めて参ります。</p>
9	全体意見	<p>全体として賛成します。ただし、</p> <p>①建物にあまりにも機能が集中しすぎており、リスク分散していない点が疑問。（2棟に分棟するとか対応を要す）</p> <p>②図書館はその目的から別棟とすべき。この内容では図書室機能となっており、歴史ある烏山図書館の蔵書など管理出来ない。（南那須に持って行くなど愚行で文化を壊さないこと）図書館があることはその町の歴史と文化のバロメーターである。心して対応願いたい。烏山の先人がどの様な思いで寄贈してくれた蔵書か忘れてはならない。</p>	<p>①令和元年東日本台風を教訓に、市民の利便性や災害時のリスク分散の観点から、有事の際にも機能するよう、現在の保健福祉センターに、南那須地区の窓口サービス機能を配置する計画としています。また、城東浄水場に隣接する水道庁舎を引き続き活用し、水の安定供給を図ることとしています。</p> <p>②「那須烏山市生涯学習施設個別施設計画（令和8年3月）」においては、「著しい老朽化に伴い耐震化・長寿命化が困難なことから、南那須図書館に機能の一部を移転・集約化するほか、新庁舎の活用や他公共施設へ複合化することで烏山地区における読書推進の窓口としての機能を維持していく」としています。いただいたご意見を参考に、慎重に検討を進めて参ります。</p>
10	全体意見	<p>次代を担う若者や女性、そして専門的知見を有した有識者にて構成される新たな庁舎整備検討委員会、市議会庁舎整備検討特別委員会、タウンミーティングや移動市長室、職員出前講座。</p> <p>予算も使ってこれまでに合意形成が図られたのだからどんどん進めて欲しい。</p> <p>建設に携わる者として強く言いたいです。建設費用は必ず上昇します。</p> <p>基本計画もまとまっていますがまだまだ煮詰めて那須烏山市の景色（見た目や市民の活気）を早く変えてくだ</p>	<p>ご意見ありがとうございます。建設単価等の動向を注視しつつ、市民の活気あふれる新たな那須烏山市の景色を創出できるよう、スピード感を持って着実に検討を進めて参ります。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		さい。	
11	全体意見	<p>私は、市庁舎の建設そのものについて賛成の立場であり、老朽化・耐震性不足が指摘されてきた現庁舎の課題を解消し、防災拠点として機能する新庁舎の整備は、現時点での市の最優先課題の一つであると考えています。特に、JR烏山駅前に新庁舎を整備するという方針については、中心市街地の活性化や公共交通の利用促進の観点からも妥当であり、賛成します。</p> <p>また、「多世代交流機能」を併せ持つ庁舎という考え方は、市民が日常的に利用し、にぎわいを生む拠点として非常に良いアイデアであると感じています。一方で、現在の計画では多世代交流機能を1階に配置する案となっていますが、行政窓口の利用者には高齢者が多いことを踏まえると、行政機能を1階・2階に集約し、多世代交流機能を最上階に配置するなど、別の配置案についても検討の余地があるのではないかと考えます。眺望や開放感を活かした交流空間とすることで、新庁舎の魅力向上にもつながる可能性があります。</p> <p>事業費については、近年の物価高騰を考慮すれば、一定規模の増加はやむを得ないものと理解しています。ただし、結果として建設時期が後ろ倒しになった点については、もう少し早期に着手できていればとの思いもあります。現時点では事業費の財源が一定程度確保</p>	<p>ご意見ありがとうございます。基本計画への賛同に加え、フロア構成や将来の維持管理、防災拠点機能等に関する具体的なご提言に感謝申し上げます。</p> <p>いただいたご意見を参考に、今後の詳細な設計の中で検討して参ります。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>されていることは評価できますが、今後、人口減少が進む中で、建設後の維持管理費が将来的に市民生活へ過度な負担とならないかについては、引き続き慎重な検討と情報共有が必要であると考えます。</p> <p>駐車場の収容台数や駅前広場の敷地面積については、来庁者や多世代交流機能の利用を想定した規模として概ね妥当であり、現計画を支持します。</p> <p>防災拠点としての機能については、基本的な方向性は示されているものの、今後の設計段階において、実際の災害対応を想定したより具体的な検討が進められることを期待します。</p> <p>南那須地域の扱いについては、市民への丁寧な説明と理解を得る努力が不可欠である一方で、将来を見据えた割り切った判断も必要な局面にきていると感じています。</p> <p>総論として、「市民のための庁舎」という理念を掲げる以上、市民が望む庁舎像に少しでも近づくよう、今後の検討を進めていただきたいと考えます。現在の那須烏山市においては、新庁舎建設と防災集団移転が特に優先度の高い課題であり、これらが前進しなければ、商工業、観光、農業、福祉、まちづくり、子育て、人口減少等といった他の重要課題の解決も遅れてしまうのではないかと危惧しています。</p> <p>官民協働による課題解決を進めるためにも、新庁舎建設事業を着実かつ早期に進めていただくことを強く望みます。今後の行政運営に期待するとともに、市民として協力できることがあれば、積極的に関わっていきたいと考えています。</p>	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
12	全体意見	<p>本件の原案に賛成でございます。</p> <p>反対意見を耳にしますが、この原案が最良と考えます。是非進めていただきたく思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。基本計画への賛同と力強い後押しにつきまして、感謝申し上げます。ご期待に沿えるよう、早期の整備に向け、スピード感を持って着実に検討を進めて参ります。</p>
13	3 具体的な庁舎機能方針6：財政負担に配慮しつつ機能性・費用対効果の高い庁舎	<p>ZEB に関して具体的な導入予定の規模（〇〇kWh×季節により変動するが平均稼働時間による年間のエネルギー産出量）と投入する機器の種類（国産か否かも含む）と単価に加え、導入後の維持管理費を含めた収支のシミュレーションの数値をご教授ください。</p> <p>またこれはやってみないとわからないのですが他の自治体の ZEB を参考に元が取れるまでのおおまかな期間を知りたいです、最後にまだ知見が少ないでしょうけれど機器の入れ替えもまだ必要な途上の仕組みです、最善を目指すならば導入後選定ミスをしっかりとして受け止め機器変更をされた自治体例も知りたいです。（意外に重要）</p>	<p>ZEB の導入に関し、基本計画においては、一時エネルギー消費量を50%以上削減する「ZEB Ready」の認証取得を目指すという方針を掲げておりますが、現段階では、導入予定の機器の種類や単価、維持管理費を含めた具体的な収支シミュレーションは行っていません。</p> <p>収支シミュレーションや設備投資額の回収に要する期間等については、今後、建物の形状や設備の仕様等の詳細を決定する設計の中で精査及び検討を行うこととなります。</p> <p>また、導入後に機器選定の不備等により機器変更を行った他自治体の事例について、現時点では把握しておりませんが、今後の設計に向けて、他自治体の先行事例や最新の技術動向について、積極的に情報収集に努めて参ります。</p>
14 -1	全体意見	<p>令和7年の市長選挙で、川俣市長は公約に那須烏山駅前に新市役所の建設を掲げておらず、民意を問うことをしていない。基本構想、基本計画および市議会やタウンミーティングの説明において、烏山駅前に庁舎整備する前提で話が進んでいる。市民の声を参考に計画を策定することは重要だが、民意を問うことなしに庁舎整備という本市にとって最重要事案を実行することには、とても賛成できることではない。</p> <p>市長選挙で民意を問うことをしないのであれば、住民投票をしなければならないと考える。建設場所、庁舎の規</p>	<p>市民の皆様や市議会議員の3分の2以上の賛同を得て、令和7年6月に決定した庁舎整備基本構想では、新庁舎整備の候補地として「JR烏山駅周辺」を選定しています。こうした経緯を踏まえて、このたびの市長選挙では、新庁舎整備の実現を公約の一丁目一番地に掲げ、信任をいただくことができました。この結果は、JR烏山駅前への新庁舎整備に対する市民の皆様の期待の表れであり、力強い後押しをいただいたものと考えています。今後も、移動市長室やタウンミーティング等、市民の皆様との膝を交えた対話を大切にしながら、検討を進めて参る考えです。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>模、建設費用などについての民意を明確にして、合併特例債を活用した基金約 14 億円を建設費用に充てることも考えて、南那須地域と烏山地域の住民の間に確執が残らないように、また将来に大きな負債を残さないためにも、条例制定をして住民投票を行うべきである。</p> <p>那須烏山市には移転補償の条例がないので、県の条例、補償基準を参考に土地収用を進めるとは思います、難航することが想像できます。その上、収用には 5 億 4 千万円の費用がかかります。そこまでして駅前に庁舎整備する必要がありますか。商業施設の出店が見込めますか？新庁舎整備でにぎわいを創出できますか？まちづくりの拠点になるとは思えません。</p> <p>多世代交流施設を庁舎となぜ複合化しなければならないのか明確な理由が見当たらない。またその必然性もない。どこの自治体でも多世代交流施設は別棟になっています。真岡・大田原・宇都宮・大阪の茨木のおにくるなど、どこの自治体でも多世代交流センターとして別に建設しています。児童や生徒が多く集まる施設では、建物への侵入はもちろん、敷地外をうろついて不審者と分かり、警戒できます。盗撮・子供へのいたづら・ストーカー行為などの性被害の危険性がないような施設でなくてはなりません。</p>	
14 -2	1：整備コンセプト及び整備方針 (1)整備コンセプト	<p>新庁舎と多世代交流施設を合築（複合化）する必然性がない。市民の声は様々あるが、それぞれの立場で公共施設を欲する意見であり、駅前に新庁舎を建設するならば行政機能の他にどのような機能があったらよいかの意見である。（電車の待ち時間の学習スペースなど）</p> <p>多世代市民交流型庁舎内に屋内での子供の遊び場は併</p>	<p>庁舎整備検討委員会からの答申では「庁舎単体ではなく、市民からの要望が高いその他公共施設の併設や複合化を念頭に置いた相乗効果の高い整備に取り組みたい」「新庁舎の優先的な整備に加え、多世代が活発に活動できる交流拠点を整備してほしい」といった意見が付されていたほか、市議会庁舎整備検討特別委員会の報告書では、市民ホール等の交流施設の整備の検討を求める意見が</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>設しないようにしたほうがよい。駅の利用者、来庁者など不特定多数の人がいる場所では、不審者などとの見分けが付かず、盗撮・子供へのいたづら・付きまといなどの性犯罪の防止が困難になる。</p>	<p>付されていません。</p> <p>そのほか、これまで実施してきた意見交換会、職員出前講座、移動市長室、パブリックコメント、タウンミーティング等において、様々なご意見・ご要望を伺ってきましたが、その中で多かったですご意見は、庁舎だけを整備するのではなく、その他公共施設との複合化や、市民が気兼ねなく立ち寄ることができる利便性の高い庁舎を整備してほしいというご意見でした。</p> <p>こうした声を最大限に尊重し、多世代市民交流型庁舎との整備コンセプトを設定したものです。いただいたご意見を参考に、利用者が安心して利用できる施設となるよう、検討を進めて参ります。</p>
14-3	<p>1：整備コンセプト及び整備方針 (2)整備方針</p>	<p>にぎわいを創出できるのは商業施設が多数なくてはなりません。新庁舎ができてにもにぎわうことはありません。ほかの自治体で新庁舎の周りでのにぎわっているところがあるでしょうか？</p>	<p>人口減少や高齢化に対応するため、駅を中心とした市街地に、公共施設だけでなく、医療・福祉・商業施設を集約し、それらを公共交通で結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」を推進し、市街地の再生による「新たな賑わい」を創出する計画を進めています。新庁舎が、多世代が活発に交流し、活動できる「まちづくりの拠点」となるよう、先進自治体の事例を参考にしながら検討を進めて参ります。</p>
14-4	<p>3：具体的な庁舎機能方針 1：市民の安全・安心なくらしを守る 防災拠点となる庁舎</p>	<p>大災害の時の防災拠点に果たしてなるのか。県道10号線や国道294号線へのアクセス道路が狭いので整備が必要になると思うが計画はあるのでしょうか。 旧南那須町の防災拠点はどこになりますか。</p>	<p>災害時にも確実に庁舎機能を維持し、防災拠点としての役割を果たせるよう、耐震性・耐久性を備えた施設とします。新庁舎へのアクセス道路については、都市計画部門と連携した市街地再生の議論と並行して検討を進めて参ります。</p> <p>また、旧南那須町における防災拠点については、市民の利便性や災害時のリスク分散の観点から、保健福祉センターとする計画としており、現在の市地域防災計画においても、烏山庁舎が災害対策本部としての機能を果たせない場合の代替施設として、サブ拠点に位置づけられております。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
14 -5	3：具体的な庁舎機能方針2：多世代が交流できる「まちづくりの拠点」となる庁舎	庁舎はまちづくりの拠点にはなりません。国土交通省の都市構造集中支援事業でも庁舎整備は含まれていません。まちづくりの拠点となるのは商業施設でしょう。基本構想にコンパクトなまちづくりとありましたが、コンパクトシティを言い換えた言葉です。今は死語となっています。人口5万人前後の都市での徒歩圏内での都市再生化の言葉です。那須烏山市の人口減少は止まりません。20年後には1万人とも推定されています。都市ではなく村落です。人口減少を見据えたまちづくりと庁舎整備をお願いします。	本市からの転出超過や少子化の進行により本市の人口は減り続けており、中心市街地の活力低下も本市にとっての大きな問題となっています。人口減少を悲観し、諦めるのではなく、市民が将来にわたって住み続けたいと思う、未来志向型の持続可能な新たなまちづくりが不可欠であり、また多くの市民が期待をしています。新庁舎整備と連動した市街地の再生を図ることで、新たなまちづくりの拠点形成に大きく貢献するものと考えています。国の有利な財政支援措置である都市構造集中支援事業については、単に庁舎のみを整備する場合には、交付金の対象となりませんが、今回、庁舎に合築し複合化を図る多世代交流施設の整備費については、交付金の活用を見込んでいます。また、県からは、議場兼ホールの整備費や、多世代交流施設利用者分の駐車場の整備費等についても、交付金の対象となる可能性があるとの話をいただいていますので、今後、国県との調整を図りながら、出来る限り多くの財政支援措置を受けられるよう検討を進めて参ります。
14 -6	3：具体的な庁舎機能方針3：JR烏山線の存続と中心市街地の活性化に繋がる庁舎	駅前に庁舎が整備された場合、烏山線の利用者はどのくらい増えるのか具体的な数字を示していただきたい。烏山線2023年の営業収入は6千2百万円、2024年は6千百万円で、200万円の減少です。市の職員に利用を促しても、定期券の補助をしても減少しています。支出は約5億6千万円で5億円の赤字です。多世代交流施設が庁舎と複合していたとしても、烏山線を利用して市役所を目的に来る人がどれだけいるか数字で示していただきたい。JR東日本へのこれだけ努力しているアピールのために駅前に新庁舎を建設するのですか？ 駅前に道の駅を作ったら目的になり、にぎわいも創出できると思いますがいかがですか？	JR烏山駅周辺については、基本構想の検討の中で、「総合計画との整合」「利便性」「経済性」「実現性」「将来性」の5つの視点の評価や、市民の声を踏まえた総合的な観点から選定されたものであり、JR東日本にアピールするために駅前に新庁舎を整備するわけではありません。 一方、多世代交流施設や市民ホールを備えた新庁舎が整備されたとしても、JR烏山線の利用向上に向けた取り組みを講じなければ、乗車数の抜本的増加には繋がりません。今年度で開催しました市民秋まつり際には、JR烏山線を利用して来場された方に八溝そば券の無料チケットを配布したところですが、同じように、現在検討を進めている可動式市民ホールにおいて講演会や発表会が行われる際、JR烏山線を利用した来場を呼びかけ、利用者に対し何らかのインセンティブを付与することも、利用向上に繋がる

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
			<p>有効な手法であると考えます。また、コロナ禍前に実施していた「高根沢町と連携した駅前マルシェ」の開催復活も利用向上に向けた有効な選択肢になるのではと考えます。</p> <p>しかし、こうした取り組みは、行政の力だけでは、なかなか成功に導けないのが実情です。2月28日及び3月1日に、庁舎整備基本計画（原案）に関するタウンミーティングを開催したところですが、参加者からは、那須烏山市を盛り上げようと、若い市民が一丸となって、まちづくりに取り組んでいる様子が紹介され、こうしたやる気のある人たちと行政が連携し、JR烏山線の利用向上策を展開してほしいとのご意見がございました。</p> <p>活発化する市民力との連携強化を図りながら、ワンチームとなってJR烏山線の存続をはじめ、新たなまちづくりを進めて参りたいと考えております。</p>
14 -7	3：具体的な庁舎機能方針6：財政負担に配慮しつつ機能性・費用対効果の高い庁舎	<p>エネルギーの省力化・高効率化の設備費用は概算事業費に含まれていますか？その費用の概算金額は？</p> <p>太陽光発電設備費用、電気自動車の充電設備費用は概算事業費に含まれていますか？その費用の概算金額は？</p> <p>国の補助は都市構造集中支援事業ですが、県の財政支援措置はどういう財政支援ですか？</p> <p>地方債（借金）の活用とは、借金の約45%が交付金として戻るが、結局借金が前提だと思いますが、それによしいのですか？</p>	<p>基本計画34ページに記載のとおり、基本計画における概算事業費の試算には、備品等の導入費用は含んでおらず、今後の設計の中で具体的な検討を行うこととしています。</p> <p>現段階では、国の有利な財政支援措置として都市構造集中支援事業の活用を見込んでいますが、環境省のZEB関連の補助事業等、出来る限り多くの財政支援措置を受けられるよう、情報収集に努めながら検討を進めて参ります。</p> <p>公共施設等適正管理推進事業債については、事業費の90%まで充当可能で、償還額の50%が交付税として措置される非常に有利な地方債であるため、起債をする際には、このような財政支援措置を伴う起債を活用する考えです。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
14 -8	6：配置計画 (1)新庁舎の配置ゾーニング図	30軒くらいの住居があると思いますが、全部の土地取得が完了してから建設するのか、数軒の同意が得られなくても着工するのですか？	一般的に、事業地内の全ての土地の取得が完了した後に、着工することとなります。建設予定地内の地権者、建物所有者及び居住者の皆様のご理解を得られるよう、丁寧な説明に努めて参ります。
14 -9	6：配置計画 (2)平面ゾーニング図	図書館の蔵書は何冊を予定していますか？閲覧テーブルいくつ配置予定ですか？学習室は何人が利用可能なスペースを予定していますか？ワークショップのための多目的室は？高齢者には和室が必要です。会議室の収容人数は？情報展示コーナーのスペースは？子供広場は宇都宮市のゆうあい広場を想定していますか？大型遊具がいくつも備えてあり、リピーター続出となるような広場にしてください。子供や保護者の飲食スペースは、電車の待ち時間に利用できる飲食スペースとは、防犯のために別にしてください。授乳室が配置されるのですからもちろんベビーカー置き場も必要です。2100平米にこれだけの機能を詰め込んでそれぞれ誇れる施設になりますか。多世代交流施設と言えるのは多目的室と会議室・和室だけですが、ほかの自治体が見学に来て見本になるような多世代交流施設にしてください。	詳細は今後の設計の中で検討することとなります。他自治体から視察に来ていただけるような先進的な施設となるよう、検討を進めて参ります。
14 -10	8：概算事業費及び財源 (1)概算事業費	12月の議会での説明では、本体価格45億円その他外構費10億円(含土地取得費・移転補償費)合計55億円の概算事業費でしたが、2カ月後には74億8千万円となり、20億円増えています。いくら概算だとしてもみとろしが甘すぎます。 建設単価を平米83万円で計算していますが、現在の建設単価は少なくとも平米100万円でしょう。那須塩原市	ご指摘のとおり、昨今、建設単価の高騰が続いている状況に鑑みますと、事業が後ろ倒しになるほど事業費が増大する可能性が高くなります。社会情勢の変化を注視しますとともに、財政状況にも十分配慮しながら、スピード感を持って着実に検討を進めて参ります。

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>の市庁舎は 14,000 平米で建設単価は約平米 100 万円です。ニュースになりましたが、熊本市の庁舎整備は事業費が倍増して建設単価は 120 万円です。那須烏山市の庁舎が建設単価平米 83 万円のできると思えません。本体価格 12 億円増で概算事業費は約 87 億円。概算事業費に含まれていない、設計料・工事管理委託料、太陽光設備・充電設備費用、蓄電池、引っ越し費用、什器備品代少なく見積もっても約 5 億円、合計 92 億円になります。消費税こみで 100 億円です。意見を伺います。概算事業費に含まれていない工事管理委託料など、一般会計から支出するようなことはないと思いますが、意見を伺います。</p>	
14 -11	<p>8：概算事業費及び財源 (2)財源</p>	<p>概算事業費 75 億円、財源 48 億円で 27 億円足りません。市有財産整備基金の 10 億円取り崩してよいのですか？生涯学習課の管理する老朽化した設備や現在の庁舎の解体費用は大丈夫ですか？足りない分は国の財政支援ですか？地方債は借金です。地方交付税の特別措置で交付されるので結果償還金が全額ではなくなります、結局借金です。基金が不足しているので増やす説明でしたが、地方債（借金）から基金への繰り入れですか？2年後、3年後では 50 億円 70 億円の地方債となりませんか？将来の働く世代の重荷にはなりませんか？</p>	<p>庁舎整備の財源としましては、行財政改革の推進により生み出した財源を積み立ててきた各種基金を活用するほか、新庁舎と合築し複合化する多世代交流施設整備について、交付金等の有利な財政支援措置の活用を予定しています。今後の事業費の増加を見据え、更なる基金の積立てによる財源の確保に努め、市民の皆様にご負担をおかけしないよう検討を進めて参ります。</p>
15 -1	<p>全体意見</p>	<p>1. 烏山駅前再開発を伴う本庁舎整備計画に大いに賛成です。念のため全体的な感想として、建物全体が大きいような感じがしておりますが、2F、3F の執務室スペースは収容人数からすると、止むを得ない大きさなのでしょうか？</p>	<p>行政庁舎機能の必要延床面積については、想定職員数等に基づいて国の基準により算出したうえで、先進自治体の状況を勘案しながら再検証を行って設定したものであり、決して過剰なものではありません。詳細は今後の設計の中で精査して参ります。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
15 -2	全体意見	<p>2. 設計業者、建設業者に依頼した場合、どうしても大きいもの、目の引くものと、ややもすると贅沢なもの、業者からするとより収益を取ろうとする傾向にあると思われますので、その点は十分に将来のメンテナンス維持費の観点、並びに当市の未来の人口減少に伴う歳入の通減見通し等から慎重に検討願います。</p>	<p>ご指摘いただきましたとおり、必要以上に大きな庁舎や豪華な庁舎、特定の維持管理コストを強いるような設計は避けるべきと考えています。今後の設計に当たっては、将来を見据えつつ、維持管理が容易で、次世代に負担を残さない機能的かつ経済性に優れた庁舎となるよう、検討を進めて参ります。</p>
15 -3	全体意見	<p>計画を見る限りでは、駅前ロータリーが無く、タクシーや個人の送迎者の一時駐車場、並びにバスの停車場も確認出来ませんが、配置図にない北側にスペースを作ると言うことになりますか？ 北側にスペースが作られるのであれば、その計画をお示しいただければ幸いです。 また、そのようになるのであれば、工事は建物の竣工と同時に成るとの理解でよろしいのでしょうか？</p>	<p>ご指摘いただいた駅前ロータリーに関しては、都市建設課において策定中の烏山駅周辺地区整備基本計画において、新庁舎の建設予定地の北側のエリアに「交通広場」として整備する計画の検討を進めています。新庁舎を核とした都市再生整備事業として、同時並行で進めて参ります。</p>
16	全体意見	<p>・市庁舎と今流行の多世代交流機能、あるいは複合機能は、個別に検討した上で1つの建物に統合するかどうか検討いただきたい。 なぜならば、 ・市庁舎は、竣工時にベストな使い勝手を目指すのではなく、より将来を考えてベストな仕様としたい。世界でも大きく遅れているデジタル化は、トップを走る国と同レベルであれば数年で実現できると考えるべきである。市役所の業務の多くは既に手順化され、あるいは手順化できると思われ、AIの更なる進化を待たなくても、デジタル化が可能だからである。そうであれば、職員数も床面積も減らせる。竣工からデジタル化完了への移行期は、床面積が足りないならば、健康管理センター等、他の施設や、統廃合で空く学校建屋を利用する、支障のな</p>	<p>デジタル化の進展を見据えた延床面積の削減や複合機能等に関する具体的なご意見・ご提言を参考に、今後の詳細な設計の中で検討して参ります。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>い部門は在宅勤務とする等で業務を遂行できると考えられる。私個人としても、公的手続きはできるだけ情報機器で済ませたい。そうすると、多世代交流という機能と市庁舎が同じ建物である必要性は感じられない。私の知人は海外に住んでいるが、一般市民が諸手続きを行うのはごく一部を除けば情報機器を用いてであって、窓口まで出向いての手続きは、許可を得た人に限られるとのこと。それでも困らない様に、情報機器の教育が強力に行われているそうである。新型コロナ禍では、市役所職員も在宅勤務が課せられ、業務を行えたとのこと。デジタル化以外でも、庁舎の統合だけで省人化・省スペース化につながるし、担当者別の机を持たない業務のオープンフロア化を行えば、省スペース化につながる。そうした方が、全くできていないと感じられる組織横断型の業務が、スムーズに出来ると思う。繰り返しとなるが、仕事の取り組み方や技術はどんどん進化している。床面積は国の基準に従うのではなく、先々を見てチャレンジングに設定していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業に勤務していた時の経験からすると、休憩時や食事の時間には、何も考えずボーッと緊張を開放したり、お茶を飲む、駄弁ってリフレッシュすることも大切と感じた。結果として、創造性や気づきが増したり、業務の効率も上がるであろう。その様な安全衛生面での配慮については、職員さんの要望があるなら、実現していただきたい。 ・複合機能については、この市の文化的な強みと弱みを把握し、必要となる機能を再検討の上で、必要な床面積を算出いただきたい。それが市役所2階の必要床面積と 	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>一致しないなら、烏山線の便が少ないことも相まって、行政機能と同一の建物とする意味は薄れる。市の文化的な強みと弱みについては、例えば日本列島形成の証跡が存在することや、古墳や城跡といった史跡や埋蔵文化財が県内でも際立って多いことは強みであるし、コンサートや演劇に適した施設がないことは弱みである。それらから単純に考えても、複合施設としてはジオや埋蔵文化財の展示スペースや音楽ホールは必須と考えられ、後者は大きな会議の場としても使える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を市庁舎に複合機能として併設することは理解できなくもないが、それならば、現在の烏山図書館の利用者数を増やす取り組みを、図書館以外の市の部門も強力に取り組んでいただきたい。例えば学校の授業の一環として図書館の利用を定期的に組み込む、図書館の中におしゃべりや飲食できるスペースを設けて気楽に多能的に使える場とする、那須南病院との間をシャトルバスで結び、待ち時間を有意義に使っていただく等、アイデアは沢山あると思う。それらを試行し、利用者が増えるかを見てはいかがか。烏山図書館は市街地にあって利用し易く、烏山高校から烏山駅への経路上にあるにもかかわらず、利用者数は南那須図書館と比較して大幅に少ない。複合施設に組み込むのであれば、図書館を利用したくなる意識に市民を導く取り組みを、施設建設に並行して行って欲しい。 ・行政機能の部分はデジタル化で要員と床面積を減らせば、投資のみならず経費も下がる。その分でデマンド型の交通を充実させれば、市内に散在する様々な施設への、子供やご高齢の方々等のアクセスが容易となる。ま 	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>た、ご高齢や諸事情でデジタル化に対応できない方々に対して、市の職員さんが訪問して申請手続き等を行うことも可能となる。その様な、庁舎以外の利便性まで拡張して検討を行えば、魅力的な市が見えると思います。</p>	
17	<p>全体意見</p>	<p>現在使用している2庁舎の築年数や耐震性能を考えると新庁舎建設には概ね賛成です。ただし、熟慮しなければならないと思う点がいくつか</p> <p>①建設予算に関して、高騰する建設備品類と人材費を考えると、より一層再考すべきところが多いと思います。優先順位をはっきりし必要最小限で最大の効果を持つ建物とすべきです。特に概算事業費（MIN56.3億円）と使用可能財源（約48億円）の差額を埋める方法が記載されていない、もしくは、事業見積もりの再考をするか、又、庁舎への導入路が東西にしかなくしかも袋小路、北南に抜ける道路の考え方も考えてほしい。線路が邪魔か？</p> <p>②烏山線ありきの偏重。一度新庁舎を建設すれば耐久年数は最低でも40年。40年間烏山線があり続けるとはとても思えないので、ある程度始めから烏山線が廃線になった事も頭に入れた建物利用イメージを考えた方がよいと思う。</p> <p>③最後に、新庁舎だけでなくその周辺の市街地に対する将来イメージみたいな項目も基本計画には記載してほしいところです。</p>	<p>新庁舎整備にご賛同いただき、ありがとうございます。</p> <p>①昨今の物価高騰や人手不足等による建設単価の上昇は大きな課題と認識しており、徹底した行財政改革による更なる基金の積立てや、有利な財政支援措置の積極的な活用による財源の確保を図って参る考えです。庁舎へのアクセス道路については、都市計画部門と連携しながら検討を進めているところです。</p> <p>②JR烏山線は本市にとってかけがえのない極めて重要な地域資源であり、まずは、未来に向けてJR烏山線を残すことができるよう、JR烏山線の利用向上にオール那須烏山体制で取り組んでいく考えです。新庁舎整備を通じてJR烏山線の利用向上に資することができるよう、今後も検討を進めて参ります。</p> <p>③新庁舎を核とした中心市街地の活性化に向け、新庁舎整備の検討と同時並行で、烏山駅周辺地区整備基本計画の策定を進めています。この計画に基づき、烏山市街地だけでなく、南那須市街地も含めた本市の将来像を示すランドデザインを描き、市民が期待する新たなまちづくりを推進して参ります。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
18	全体意見	新庁舎を駅前にたてるべきです。	JR 烏山駅前への庁舎整備にご賛同いただき、ありがとうございます。早期の整備に向けて着実に検討を進めて参ります。
19	全体意見	駅前に新庁舎をたてるべき！！ 烏山線をのこすために！！	JR 烏山駅前への庁舎整備にご賛同いただき、ありがとうございます。JR 烏山線の利用向上にも繋がる多世代市民交流型庁舎の整備を進めて参ります。
20	全体意見	駅前に新庁舎が必要です。烏山線が通っていて便利だと思います。高齢者も烏山線を使い庁舎に来る事ができます。	JR 烏山駅前への庁舎整備にご賛同いただき、ありがとうございます。JR 烏山線を利用した交通手段の確保は重要な視点であると考えています。誰もが利用しやすい新庁舎の整備に向けて、着実に検討を進めて参ります。
21	全体意見	駅前に庁舎はたてるべき。交通のべんやけいかんを考えるとこれからの烏山にひつよう！	JR 烏山駅前への庁舎整備のご賛同と、駅前の交通利便性や魅力ある景観の創出についてのご提言に感謝申し上げます。いただいたご意見を参考に、着実に検討を進めて参ります。

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
22	全体意見	<p>烏山庁舎昭和 36 年築、南那須庁舎昭和 51 年築、どちらも耐震性の不足、老朽化の問題があり、バリアフリー対応もできていない。また、災害時における蓄電池も装備されていない庁舎は当市のみである。このような状況を踏まえても、新庁舎整備は急務であると思う。この現状を認識しているにもかかわらず反対意見を唱える市議会議員がいる事は遺憾である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。防災等の観点からのご提言に感謝申し上げます。ご指摘の件につきましては、市としても喫緊の課題であると捉えております。早期の整備に向け、市議会との合意形成に努めながら、スピード感を持って着実に検討を進めて参ります。</p>
23	全体意見	<p>「市民が気兼ねなく立ち寄り、くつろぐことが出来る」 「利便性の向上に繋がる計画」大変素晴らしいコンセプトですが一抹の不安があります。</p> <p>1, 庁舎機能が 2 階以上に配置で職員や利用者の利便性危惧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会で説明していた 2 階以上に配置されている栃木市と大田原市は「特段市民からのクレームもなく支障も生じていない」とのことですが、両施設共エスカレーターが設置されています。大田原市役所は広いエントランスロビーの中央付近に設置。栃木市役所は百貨店跡地で元々備わっており一階には様々な店舗が入っている便利な商業施設なので本市計画とはまるで違います。 <p>2, エレベーターがたったの 1 基のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 故障、点検時は完全停止リスクで移動手段が階段のみに！ ・ 災害時の閉じ込めと救助の遅れ！ ・ 日常的な「待ち時間」とストレス！ ・ 密接空間、他人と乗り合わせのストレス！ ・ 職員と共用！職員も気を使う。不必要に呼び止められ業務に支障をきたす恐れ。カスハラ、不当要求の温床になる可能性もあるので心配です。敷地面積の都合上、エ 	<p>様々なご意見・ご提言をいただきありがとうございます。今後の新庁舎整備に向けた参考とさせていただきます。</p>

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>スケーラーを設置できる余裕がないのでしょうか。</p> <p>3, 多世代交流施設という名の補助金目当ての1F 寄せ集め施設</p> <p>真岡市複合交流拠点施設「monaca」の虜になりミニチュアにして1Fに凝縮して配置したとのことですが、真岡の施設は地上3階及び屋上フロアから構成されています。(トコトコ大田原も同等規模!)あの規模だからこそ良いのであって本市計画の1フロアに寄せ集めた小規模密集型施設が快適とは思えません。ホールで催物開催時は想定350人が一階に密集します。庁舎機能も含めると550人以上が密集することになります。想像するだけで息苦しくなります。混雑を賑わいとは言いません、人は混雑を避けます。ましてや民間が入り有料になったら閑古鳥が鳴く施設になる恐れがあります。身の丈に合った施設と言いますが敷地面積に限られる駅前でそうせざるを得なかっただけではないでしょうか?手狭で使い勝手が悪い窮屈な場所は人間トラブルも起こりやすいのでとても心配です。それから、本市の実情にそぐわない庁舎ありきの立地適正化計画で国の交付金をあてにして行う駅周辺再整備計画も無駄遣いの官製都市にならないか心配です。やったところで今後ますます人がいなくなるのが確実な場所を再開発して商業施設が立ち並ぶと思います?市場調査してからでないかと不安です。居住誘導区域に人がまとまって暮らすのは100年後位では?烏山線どうなっていますか?駅前に廃墟になった元市役所。そうならないかととても心配です。</p> <p>4, 見るからに居心地悪そうな駅前広場</p> <p>烏山駅と庁舎の間にマルシェ等のイベントに活用でき</p>	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>憩いの場となる芝生を張った駅前広場を整備することですが、人目にさらされる場所なので常人はくつろげません。しかも3階建て庁舎の北側に位置しているので日陰になる。西日も当たらない配置になっている場所もあり天気良くても一日中太陽が当たらない暗くて雰囲気悪い人々が寄り付かない最悪のイベント広場になる恐れがあります。誰も使いたがらない苦悶の広場にならないか心配です。</p> <p>5, 行政主導による交通混雑の慢性化で起こる都市機能の低下、経済損失、環境負荷、そして住民の生活環境悪化と烏山線離れ</p> <p>出入口が一か所で導線の悪い施設駐車場。309台の車が催し物終了後に一斉に出庫したとします。烏山停車場線入口の信号までの距離は僅か100メートル程しかありませんので赤信号時は車が出られなくなるのは言うまでもありません。他に約200名の職員、公用車50台、烏山駅利用者合わせて約600台の車がただでさえ走りにくい烏山駅付近に集中します。駅に向かうアクセス道を整備しても近辺に集まる台数は変わりません。混雑するところに人は行きません。烏山駅を利用する人からも避けられ結果的に烏山線利用低下につながるでしょう。夕方6:40頃駅前には学生の迎いの車が15台程停まっています。工事中や施設完成後はどこに停車すればよいのでしょうか？駅利用者用駐車場とロータリー整備が庁舎より先決ではないでしょうか。信号の多い独特の烏山市街地で不便な駅前に庁舎作ることによって起こる交通公害。多くの市民に嫌がられないか心配です。</p> <p>6, 職員駐車場問題</p>	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>かねてより指摘されていた職員駐車場問題。いまだに具体的なことはひた隠しにされているが、これまでの経緯からすると近隣の空き地を個人契約することになるのでしょうか。県内の他市町の職員駐車場の場所を調べると敷地内や敷地外でも隣接した場所や最寄りにあります。本市計画はどうやら敷地内や最寄りではなさそうですね、職員駐車場や公用車置き場が離れていては職員負担や業務効率も悪くなります。200人の職員が駐車場を個人契約し駐車場手当を月に職員一人5000円支給したとすると年間総支給額はいくらになるのでしょうか？それが10年、20年と支出が続くわけですから、税金の使い方として市民から間違いなく大きな反発があります。駅前でなければ解決できるので計画がうまくいくか心配です。</p> <p>7, 凶相施設、縁起の悪い北東の玄関 建物のメイン玄関の方角が北東で鬼門！風水では邪気が溜まりやすいとされ日本では古くから忌み嫌われ玄関を北東に置くのは避けられてきました。日陰で寒く湿気が溜まる陰の気に満ちた玄関によって施設全体に負のエネルギーが充満し訪れた市民に悪影響を及ぼさないか心配です。多世代市民交流型庁舎で職員同士や市民間でのいざこざや体調不良者がでないか心配です。忌々しさ抜群の縁起悪いシンボリックな庁舎で市の運気が下がり絶望的な未来へ羽ばたく那須烏山市になってしまわないか心配です。まさか話題の建築デザイナーに依頼し余計な装飾をつける予定ではないですよね？</p> <p>8, 観光客が困惑？ 烏山線で訪れ烏山駅を出た瞬間、風景に似つかない三階</p>	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>建てコンクリート建造物。圧迫感があり駅前の日差しを遮ります。しかもメインが役所！観光物産センターやフードコートがあれば良いのですが、あくまでも仕事場です。観光客が駅を出た瞬間に思わず立ち止まりガッカリしないか心配です。</p> <p>9, 駅前に市役所があったところで烏山線利用向上効果は低い</p> <p>ほとんどが車通勤で、もっとも烏山線を使用しない施設利用者である 200 人の職員が集まる施設です。烏山線利用向上には極めて効果は低いでしょう。大金駅に近い南那須庁舎に今現在、毎日烏山線を利用して登庁している職員は何人いますか？答えられないでしょう。駅前に庁舎が整備できれば JR 烏山線存続に向けた大きなメッセージになると言いますが果たして本当にそうでしょうか？JR に確認してみてください。それからこの先 20 年の職員数の推移を出してみてください、ますます効果は減るでしょう。</p> <p>●市民アンケートで真の『オール那須烏山体制』を！ 良い施設になることを願い不安に思うことを記載しましたが一市民の声に過ぎません。是非、参考までに広く市民アンケートをとり多くの市民の心の声に耳を傾けることをお勧めいたします。前回のパブリックコメント提出数が 40 件程度。重要政策の判断材料としてどうでしょう？タウンミーティング等では時間制約があり、まともな意見交換になりません。参加者が全員意見を言える雰囲気ではないと聞きます。市長選当選が『民意』とこじつける一部の職員や議員がいるようですが得票数 5848 票は市民の何%でしょうか？他の 14469 人(差</p>	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>し引いた大多数の当日有権者数)は排除ですか？選挙公報に書いてありませんので市長選結果とは別問題です。勘違いされているようです。残念な排他的思考です。※選挙制度や投票結果を否定しているのではありません。このまま推し進めると公正も公平も市に期待できない層が増え疎外感を持ち市民の満足度、幸福度は向上しないかもしれません。シビックプライドが醸成するでしょうか？さらなる転出増加につながる可能性も否定できないのではないのでしょうか。職員の中にアンケートは必要だと思っても、組織内の立場があるので言えず排除されないように仕方なく言われた通りやっているだけか、庁内がおかしな空気に支配されているからやろうとしないのでは？と思われてないか心配です。アンケートで方向性を決定しなくとも市民の多様な意見を体系的に整理し、賛否の背景にある根本的な論点を客観的に分析する価値はあります。最後に、課題が山積する本市を明るい未来のために強いリーダーシップと卓越した政治手腕で力強くけん引し誰からも愛される我々が市長と優秀な職員のみなさんに期待しております！人口減少時代みんなで手を取り合い一緒に明るい未来へ羽ばたきましょう！！その為のアンケート、たったアンケートをとるだけで未来が変わります！！やっている自治体は多くあります！！「すべての公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない」（日本国憲法第15条2）是非、オール那須烏山アンケートで全体の市民にご奉仕を何卒宜しく願いいたします。※賛成も反対もしていませんので勝手に人の意見を主観で賛成・反対・その他に振り分けるのをやめていただけると嬉し</p>	

No	該当箇所	意見・提言等	市の考え方・原案への反映
		<p>いです。やるのであれば住民投票を。本意見・提言に対する回答は不要です。</p>	